

令和6年度 桃陽総合支援学校 後期学校評価アンケート

確かな 学力	健やか な身体	豊かな 心			教職員				保護者					児童生徒					病院等関係者										
					よく出 来てい る	大体出 来てい る	あまり出 来てい ない	出来て いない	よく出 来てい る	大体出 来てい る	あまり 出来て いない	出来て いない	わから ない	そう思 う	大体そ う思 う	あまり思 わない	思わない	よく出 来てい る	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない	わから ない							
			学習 について	①	児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	17.0%	75.0%	4.0%	4.0%	②	子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力をつける	31.0%	46.0%	20.0%	3.0%	0.0%	②	勉強はよくわかる	23.0%	57.0%	16.0%	4.0%	③	導入されたICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	19.0%	46.0%	2.0%	0.0%	31.0%
										③	子どもが話をしっかり聞く	31.0%	55.0%	14.0%	0.0%	0.0%	③	私は先生や友だちの話をよく聞いている	37.0%	53.0%	10.0%	0.0%							
				③	子どもがICT機器を利用できるように指導する	32.0%	54.0%	14.0%	0.0%	⑤	書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を収集する	34.0%	43.0%	14.0%	6.0%	3.0%	⑤	私は本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	47.0%	30.0%	23.0%	0.0%							
				④	自主学習が習慣づく指導を行う	11.0%	43.0%	42.0%	4.0%	⑥	子どもが自主学習の習慣を身に付ける	18.0%	31.0%	31.0%	20.0%	0.0%													
				⑪	わかりやすい授業づくりを工夫する（ICTの有効活用を含む）	18.0%	74.0%	4.0%	4.0%	⑫	学校がわかりやすい授業を工夫する	52.0%	34.0%	3.0%	0.0%	11.0%	⑫	GIGA端末や電子黒板を使って学習することでよくわかる	43.0%	40.0%	13.0%	4.0%							
																	⑬	先生は私の質問にいていねいに答えてくれる	56.0%	40.0%	0.0%	4.0%							
			生活 について							①	子どもが楽しく学校（リモート学習を含む）に通う	51.0%	37.0%	9.0%	3.0%	0.0%	①	学校生活は楽しい	39.0%	46.0%	11.0%	4.0%	①	児童生徒は楽しく学校生活を送っている	35.0%	63.0%	2.0%	0.0%	0.0%
				②	子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	18.0%	78.0%	4.0%	0.0%	④	子どもが相手に伝わるように話す	20.0%	66.0%	11.0%	3.0%	0.0%	④	私は思ったことや考えたことを話している	27.0%	60.0%	9.0%	4.0%							
				⑤	子どもがすすんで挨拶できるように指導する	14.0%	66.0%	20.0%	0.0%	⑦	子どもがあいさつをする	26.0%	57.0%	14.0%	0.0%	3.0%	⑥	私は自分からすすんであいさつしている	27.0%	57.0%	10.0%	6.0%	④	来校したとき児童生徒は挨拶する	19.0%	35.0%	10.0%	2.0%	31.0%
				⑥	子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	17.0%	69.0%	14.0%	0.0%	⑧	子どもが場に応じた言葉づかいをする	26.0%	57.0%	11.0%	3.0%	3.0%	⑦	場面に応じた言葉づかいをしている	27.0%	53.0%	20.0%	0.0%							
				⑨	子どもが協力し合って取り組めるような活動を計画立案する	11.0%	79.0%	10.0%	0.0%	⑩	子どもたちが協力し合って、学校生活をおくる	34.0%	49.0%	6.0%	0.0%	11.0%	⑨	相手の人の気持ちを考えて行動している	36.0%	50.0%	10.0%	4.0%							
				⑧	行事のねらいを明確にし、子どもにとって意義のあるものにする	21.0%	72.0%	7.0%	0.0%	⑪	学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	54.0%	29.0%	11.0%	0.0%	6.0%	⑩	友だちと一緒に活動すると楽しい（TV会議などの活動も含む）	55.0%	35.0%	10.0%	0.0%	②	学校行事において児童生徒は生き生きした活動の様子が見られる	44.0%	46.0%	2.0%	0.0%	8.0%
				⑦	社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	21.0%	75.0%	4.0%	0.0%	⑨	子どもが社会のルールを守り、生活のマナーを身に付ける	29.0%	57.0%	9.0%	0.0%	3.0%	⑧	学校の決まりや約束を守っている	47.0%	37.0%	16.0%	0.0%	⑤	児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身につけている	13.0%	56.0%	16.0%	0.0%	15.0%
				⑬	子どもが自分の健康管理に気を配れるように指導する	36.0%	57.0%	7.0%	0.0%	⑭	子どもが自分の身体のことを気を付けて活動する	31.0%	49.0%	14.0%	6.0%	0.0%	⑮	病院の先生や看護師さんの言われたことを守る	30.0%	60.0%	6.0%	4.0%							
			自己理解・ キャリア発達に 関すること	⑩	子どもの良いところを見つけほめる	55.0%	41.0%	4.0%	0.0%								⑪	自分自身のことを好きである	33.0%	27.0%	27.0%	13.0%							
				⑫	子どもの相談に適切に応じ、内容を共有している	29.0%	64.0%	7.0%	0.0%	⑬	子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	29.0%	57.0%	14.0%	0.0%	0.0%	⑭	私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がある	47.0%	37.0%	12.0%	4.0%	⑥	教職員に連絡や相談がしやすい	25.0%	54.0%	15.0%	4.0%	2.0%
				⑭	子どもに関することを主治医やスタッフと十分話し合い、個別の包括支援プランにいかす	18.0%	71.0%	11.0%	0.0%	⑮	学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明する/学校が自立活動についてわかりやすく説明する	34.0%	43.0%	6.0%	0.0%	14.0%	⑯	学校生活や行事に自分なりの目標をもって参加している	23.0%	40.0%	30.0%	7.0%							
			教育環境や 地域との 連携について	⑮	個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	11.0%	68.0%	21.0%	0.0%	⑯	個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている/子どもにあった自立活動の短期目標が設定されている	46.0%	34.0%	0.0%	3.0%	17.0%													
																							⑦	桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	6.0%	17.0%	8.0%	56.0%	10.0%
				⑯	教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	18.0%	55.0%	10.0%	17.0%	⑰	学校だよりやホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	40.0%	51.0%	6.0%	3.0%	0.0%							⑧	学校だよりやホームページを見ると、学校の様子がよくわかる	10.0%	27.0%	15.0%	6.0%	42.0%
				⑰	学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	24.0%	66.0%	10.0%	0.0%	⑱	学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	54.0%	40.0%	3.0%	0.0%	3.0%													
				⑱	保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	18.0%	71.0%	11.0%	0.0%	⑲	学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てている	68.0%	20.0%	6.0%	0.0%	6.0%							⑨	学校・家庭・病院・地域が連携して学校づくりをしている	23.0%	52.0%	15.0%	2.0%	8.0%
				⑲	近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	8.0%	64.0%	21.0%	7.0%																				
				⑳	児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%																				
				㉑	児童生徒が安全に学校生活をおくることができるように定期的に点検や修繕を行っている。	28.0%	68.0%	4.0%	0.0%																				

前期と比較すると全体を通して肯定的な回答の割合が高くなっている。まだまだ否定的な回答の割合が少なくはないが、「生活について」の⑤「子どもがすすんで挨拶ができるように指導する」⑥「子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する」の肯定的な回答の割合は前期と比べると高くなっており、日頃から生活習慣の改善を図っていかうという成果の表れだと感じている。後期のこの時期は1年間のまとめであり、来年度へのつなぎへの時期でもあるので、日々を大切に過ごして行くようにしていきたい。

前期と比較すると、全体を通して、多少の割合の変動あるもの、大きくは変わっていない。項目⑥「子どもが自主学習の習慣を身に付ける」は、まだまだ否定的な回答の割合は高いものの、前期と比べると肯定的な回答の割合が高くなっている。この項目は、本校の課題のひとつではあるので、引き続き取組を行っていき、少しでも子どもたちが自主学習の習慣を身に付けてほしいと考える。今後も子どもたちの成長を図るべく保護者と協力し合って、教育活動を進めていきたい。

前期と比較すると、全体を通して、否定的な回答の割合が少なくなっている。日々の取組の積み重ねにおいて、一人一人の子どもたちの成長が促されてきたのでは考える。日々、子どもたちは何かしらの悩みや困りごとを抱えて過ごしていると思われる。悩みや困りごとを自分自身で抱え込むのではなく、聞いてくれる、話すことができるという存在は大事であると考え。今後も子どもたちとともに歩んで行きたいと考える。

「様々な疾患、発達段階の子どもたちに臨機応変な対応をしていただきありがとうございます。入院生活の中で学校という日常を過ごす時間があるということは子どもの成長過程や治療に対して前向きな気持ちに繋がっています。」との回答をいただいた。今後も学校と病院と連携を取りながら行っていきたい。ホームページの項目の回答が芳しくない。病院の方々にも見てもらえるような発信をしていく必要がある。

【全体を通して】

- ・教職員は、今年度も取組について、肯定的に捉えている。日々、子どもたちに寄り添いながら教育活動を推進してきた1年間であったと思われる。
- ・今後も子どもたちの学力の定着を図っていきたいと考える。そのためにも、ICTを有効活用していきながら子どもたちにとってわかる授業の工夫をしていきたい。わかる授業を行うことで、子どもたちはわかる喜びを感じることができる。そのわかる喜びが自尊感情の構築に繋がり、自分自身のことを好きになっていくと考える。
- ・今後も保護者・病院・地域の連携を図りながら日々の教育活動を推進していきたい。意見交流を大切に、それを日々の学校経営に繋げていきたい。地域に根ざした学校を展開するべくより「地域交流」も図っていき、教育活動の様子などをホームページや学校だよりなどで発信していきたい。

<b>確かな学力の育成:</b> 「学習について」の項目を見ていると、教職員・保護者・児童生徒の割合は比較的似通っている。それらの割合を見ることで課題が見えてくる。自主学習の習慣が身	<b>豊かな心の育成:</b> 心のケアは本校・分教室とも大事にしている。定期的にラポートタイムといった子どもたちと話す機会を作り、現状の様子を聞いている。担任だけでなくチームで子どもたちに寄り添っており、子どもたちも色々な先生に相談をしている。教職員同士も連携を図りながら、心の育成に努めていき	<b>健やかな身体の育成:</b> <b>家庭・病院と連携</b> を図りながら心身の健康に努めている。子どもたちは入院という様々な制限の下で昼夜同じ人間関係で日々過ごしている。そういった生活においてのストレスを少なからず持っていると思われる。人との距離感や人は様々な考えを持っているということを理解することで、自分自身の心を大事にしていってほしい。	<b>独自の取組:</b> 病院や関係機関などと連携を図り、専門的なアドバイスを受けることで子どもたちを多角的に見ることができている。日々の学習会や研修会を実施することで教職員の専門性の向上を図っている。
--	---	--	---